

主な検討事項及び論点（案）

1. 趣旨

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する報告や、特別支援学校学習指導要領の改訂、社会状況の変化等を踏まえ、これからの特別支援学校施設の在り方について検討する。また、検討結果を踏まえ、特別支援学校施設整備指針の改訂案を示す。

2. 検討事項及び論点

○前提として、今後の特別支援学校における学びの姿をどう捉えるか。また、その学びを実現するための学校の姿をどう捉えるか。

①新しい時代の特別支援教育への対応

令和3年1月、中央教育審議会の答申や、新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議の審議がとりまとめられ、これからの特別支援教育の方向性等が示された。

（キーワード）

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・ 障害のある子供の学びの場の整備・連携強化
- ・ 特別支援教育を担う教師の専門性の向上
- ・ ICT利活用等による特別支援教育の質の向上
- ・ 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実 等

②新しい学習指導要領への対応

平成29年3月、学習指導要領が告示され、特別支援学校の小学部では令和2年度、中学部では令和3年度から実施されている。新しい学習指導要領の着実な実施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が求められる。

（キーワード）

（すべての学校種に共通なもの）

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・ 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立
- ・ 情報教育の充実（情報活用能力の育成）
- ・ 外国語教育・外国語科の充実

（特別支援学校特有のもの）

- ・ 学びの連続性を重視した対応
- ・ 一人一人に応じた指導の充実
- ・ 自立と社会参加に向けた教育の充実 等

③その他の社会状況の変化への対応

障害者基本法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、改正バリアフリー法などの関連法の整備が進むなど、インクルーシブ教育システムの理念の実現に向け、障害のある児童生徒の教育環境の充実が求められている状況。また、少子高齢化や働き方改革等の社会状況の変化への対応として、どのような学校施設が求められているか。

(キーワード)

- ・ インクルーシブ教育システムの構築
- ・ 少子高齢化
- ・ 学校における働き方改革の推進
- ・ 地域社会や関係機関との連携・協働の推進 等

④学校施設の機能向上への対応

第二次ベビーブームを受けて大量に建設された学校施設の老朽化への対応や、頻発化、多様化、甚大化する自然災害への対応など、学校施設を取り巻く課題に対し、どのような機能向上が求められているか。

(キーワード)

- ・ 施設の老朽化対策
- ・ インフラの長寿命化
- ・ バリアフリー化
- ・ 防災・減災、国土強靭化
- ・ 施設の複合化や共用化
- ・ カーボンニュートラルへの対応 等

○新しい時代の学びを実現するための学校施設はどうあるべきか。

- ・ 障害のある子供の自立と社会参加を見据えた施設環境の整備
- ・ ICT利活用等による特別支援教育の質の向上を支える施設環境の整備
- ・ 特別支援学校のセンター的機能の充実や設置者を超えた学校間連携を促進可能な施設環境の整備
- ・ 教職員の働く場としての機能の向上（教師の専門性の向上等を含む）
- ・ 新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備
- ・ 人口動態等を踏まえた効率的・効果的な施設環境の整備（既存の小中学校施設の一部転用や、廃校施設の活用等）
- ・ 環境に配慮した学校施設の整備 等